

「岡崎市食育推進計画」中間評価アンケート結果報告書

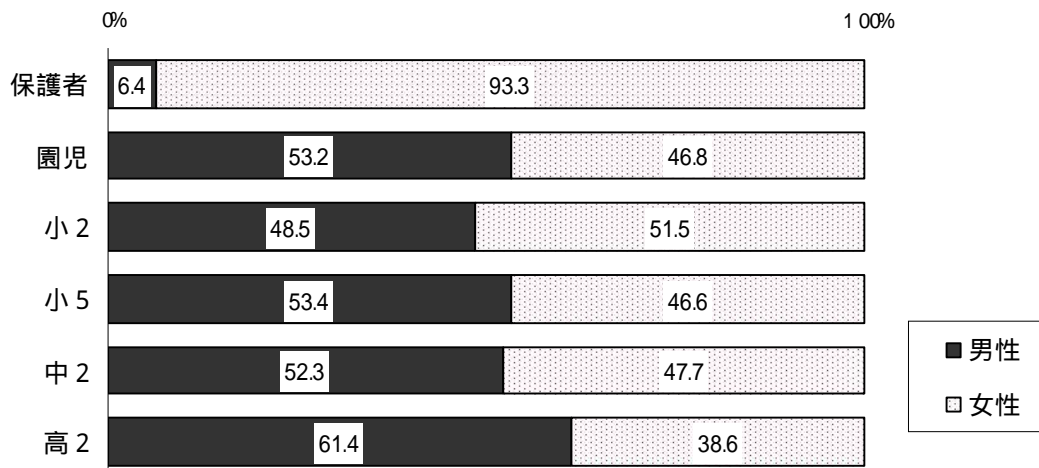
1. 調査実施状況

- (1) 対象：岡崎市在住の幼稚園・保育園（年中）児、小学校2・5年生、
中学校2年生、高校2年生（抽出）とその保護者
- (2) 実施期間：平成21年10月
- (3) 配布・回収方法：各園・学校に直接配布・回収
- (4) 内容：基本目標及び数値目標に関すること

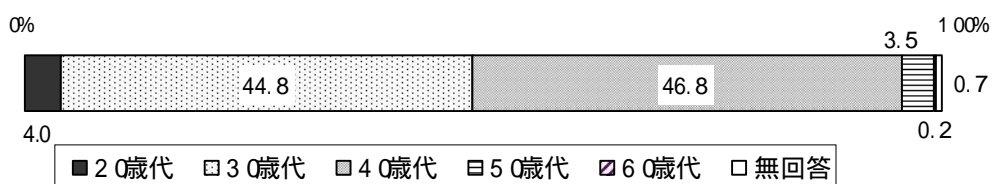
配布・回収状況

対象	配布先	配布数	有効回答数	有効回答率
幼稚園・保育園児	保護者へ配布	330票	310票	93.9%
小学校2年生	保護者へ配布	335票	307票	91.6%
小学校5年生	児童へ直接配布	330票	298票	90.3%
中学校2年生	生徒へ直接配布	322票	300票	93.2%
高校2年生	生徒へ直接配布	320票	285票	89.1%
保護者	児童・生徒より保護者へ配布	1,637票	1,511票	92.3%

【性別（子ども、保護者）】



【年齢構成（保護者）】

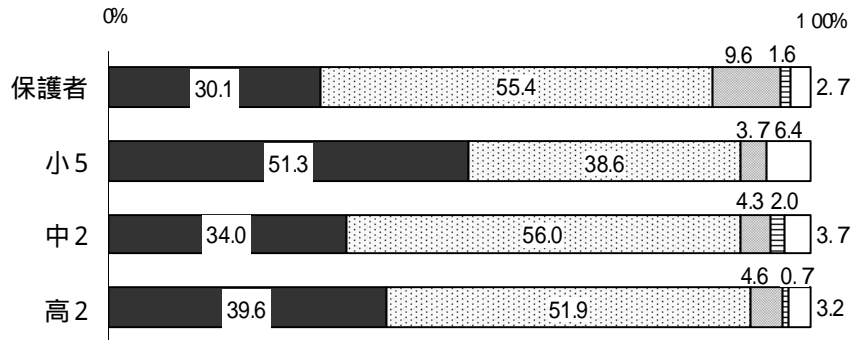


2. 集計結果

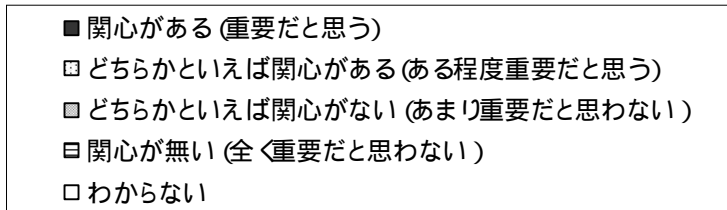
(1) 食育への興味・関心について

【食育に関心がありますか（保護者）】

【食べものについて学ぶことは重要だと思いますか（子ども）】

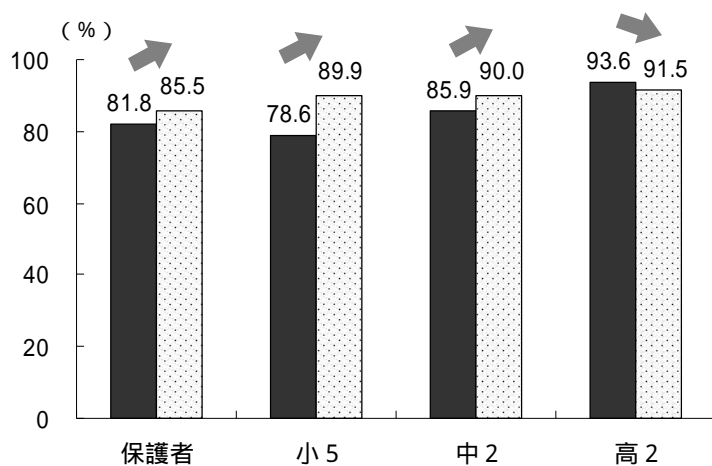


85.5%の保護者が
食育に関心あり



平成19年度アンケート結果との比較

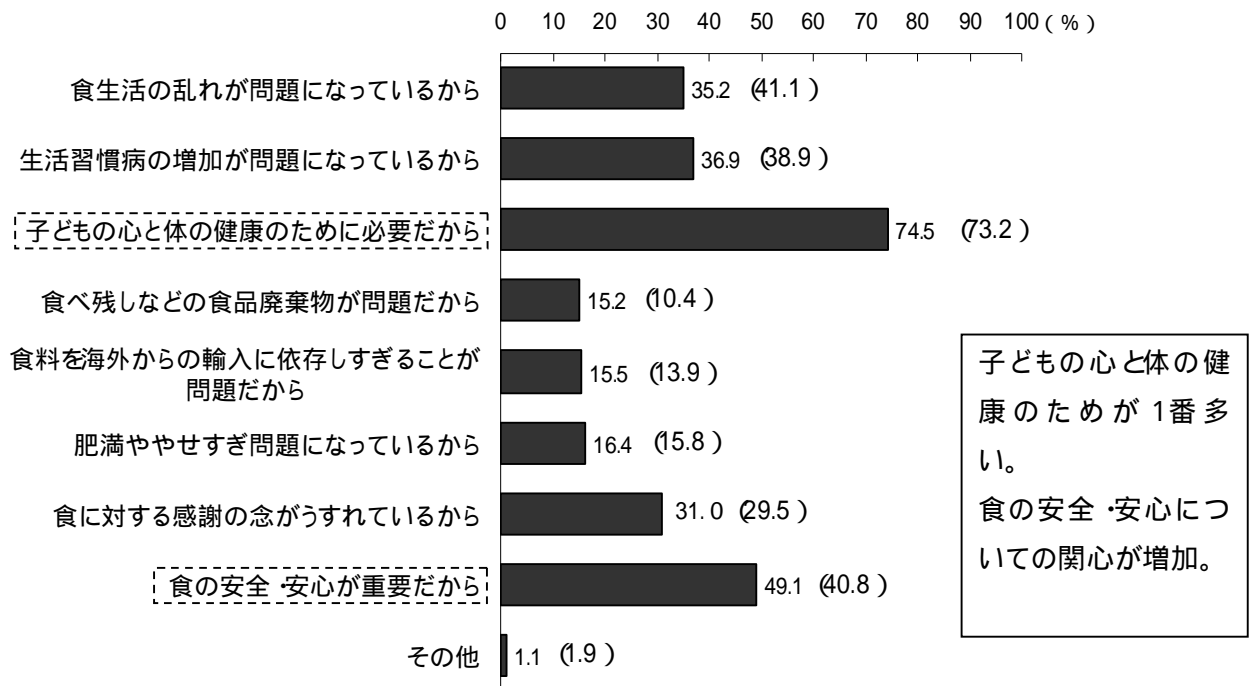
食育について関心がある 又は どちらかといえば関心がある (保護者)
食べものについて学ぶことは重要だと思う 又は ある程度重要だと思う (子ども)



高校生以外は上昇。
全体的に増加傾向。

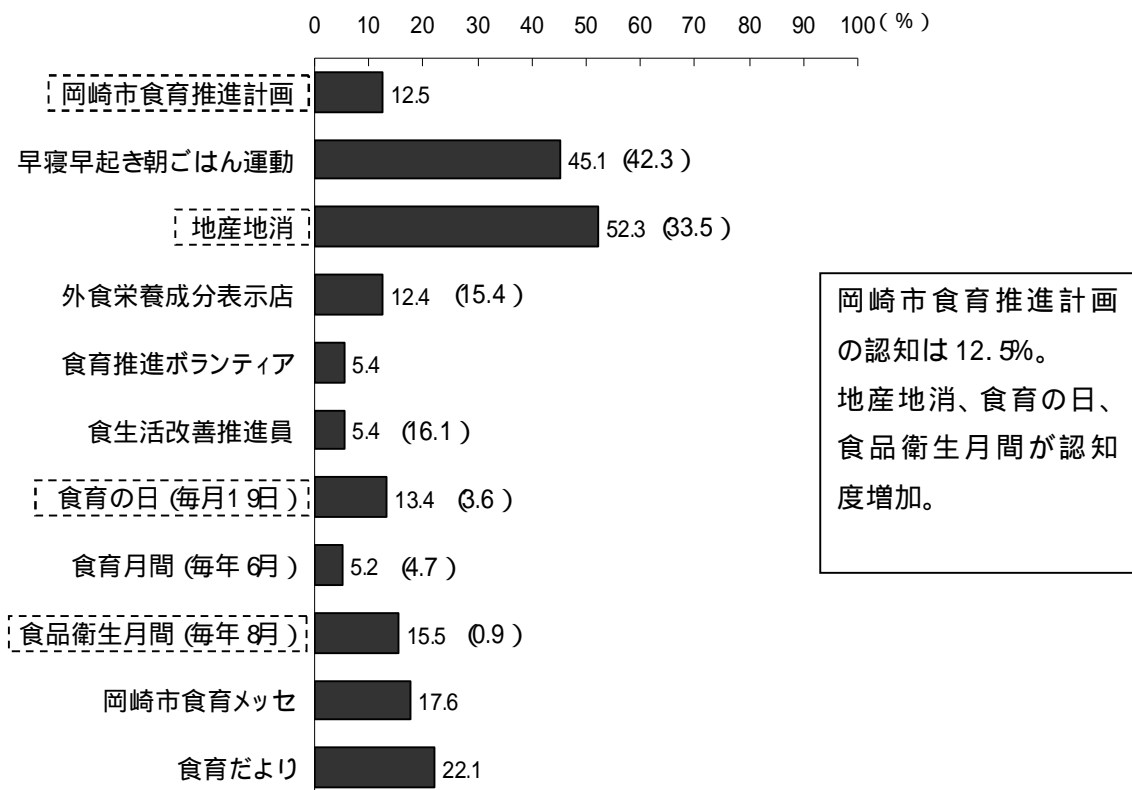
【関心がある理由はなんですか（保護者）】（複数回答）

（ ）はH19アンケート結果



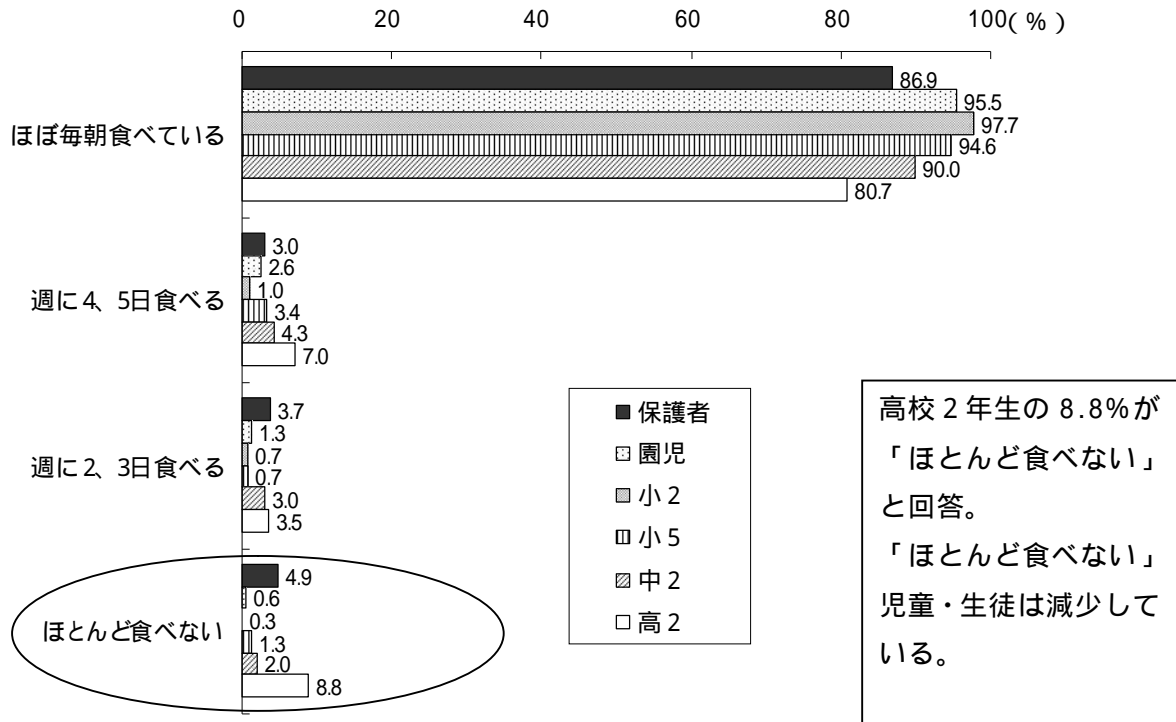
【次の取組を知っていますか（保護者）】（複数回答）

（ ）はH19アンケート結果



(2) 食生活について

【朝ごはんを食べていますか(子ども・保護者)】



高校2年生の8.8%が「ほとんど食べない」と回答。
「ほとんど食べない」児童・生徒は減少している。

平成19年度アンケート結果との比較

「ほとんど食べない人」と回答した人(保護者・子ども)

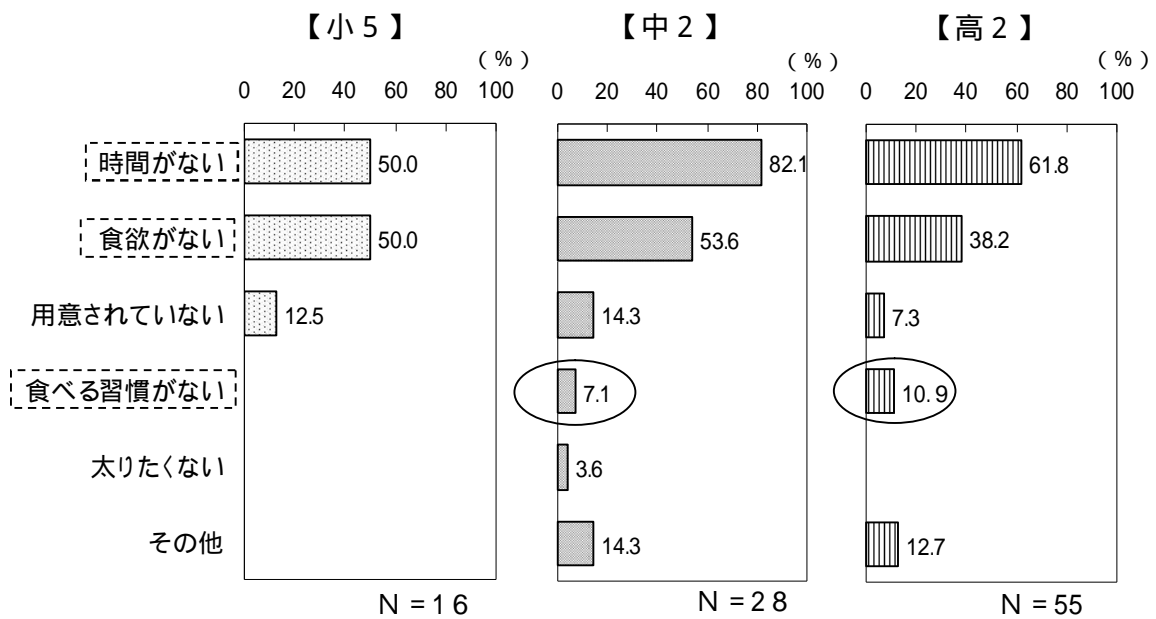
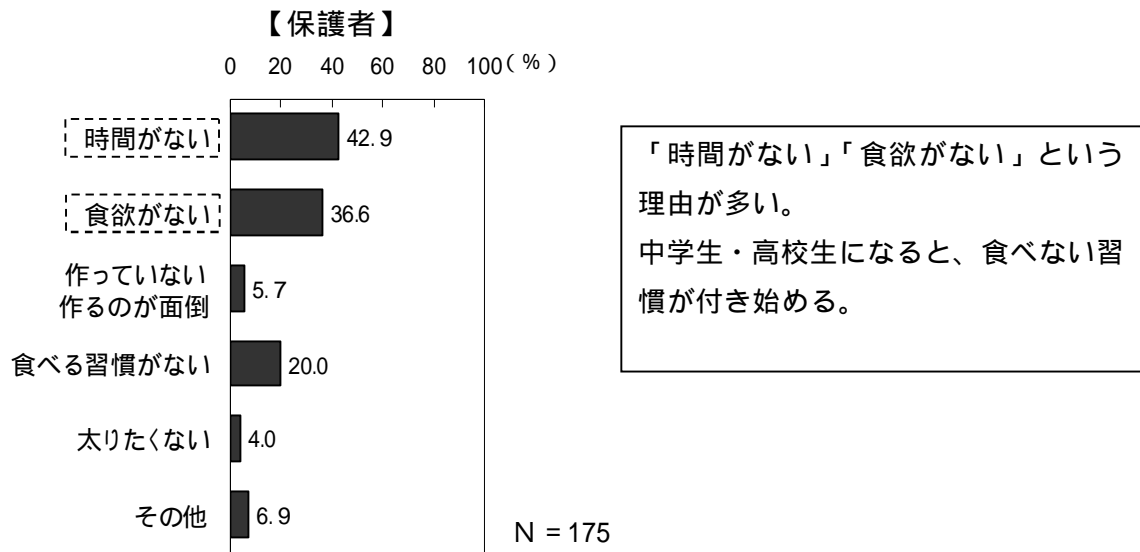
(%)

	H19	H21	参考(愛知県)
保護者	4.2	4.9	
園児	1.1	0.6	
小学校2年生	0.7	0.3	2.0
小学校5年生	1.1	1.3	
中学2年生	4.5	2.0	4.5
高校2年生	8.1	8.8	9.3

愛知県はH20アンケート結果

【朝食を食べない理由（子ども・保護者）】（複数回答）

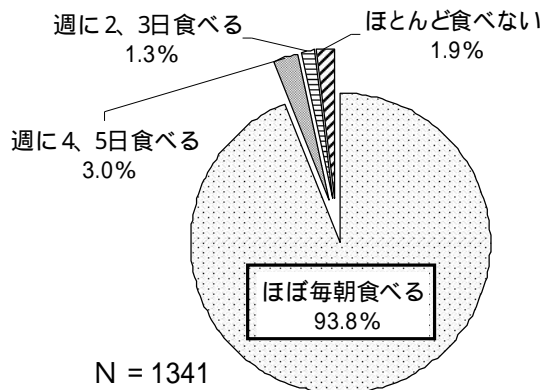
朝食を「ほぼ毎朝食べる」と答えた人以外が回答



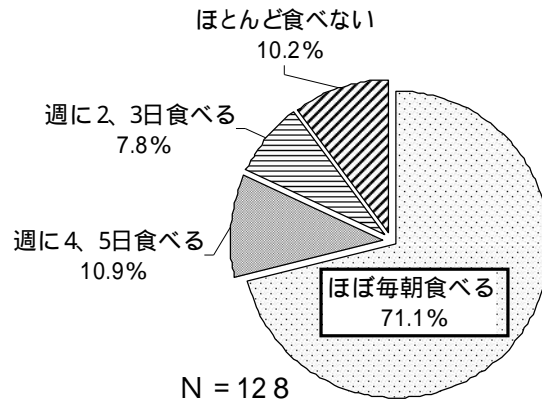
保護者と子どもの食生活の関係

【朝ごはんを食べていますか（子ども）】

保護者が朝食をほぼ毎日食べる
又は、週に4、5日食べる



保護者が朝食をほとんど食べない
又は、週に2、3日食べる

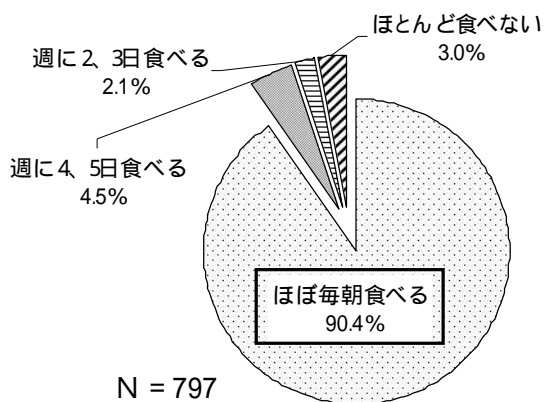


保護者が朝食を食べないと、子どもも食べていない場合が多い。

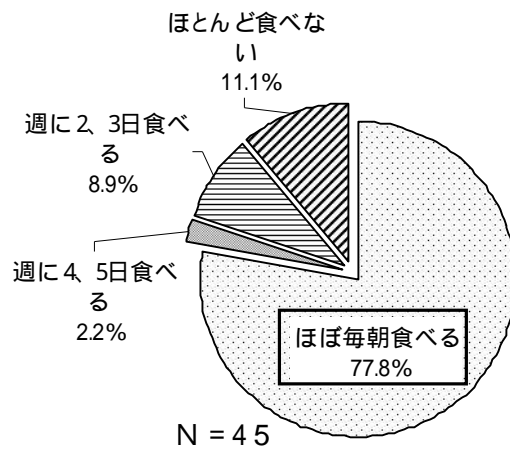
食育への関心と朝食摂取頻度の関係

【朝ごはんを食べていますか（小5～高2）】

食物について学ぶことは重要だと思う
又は、ある程度重要だと思う



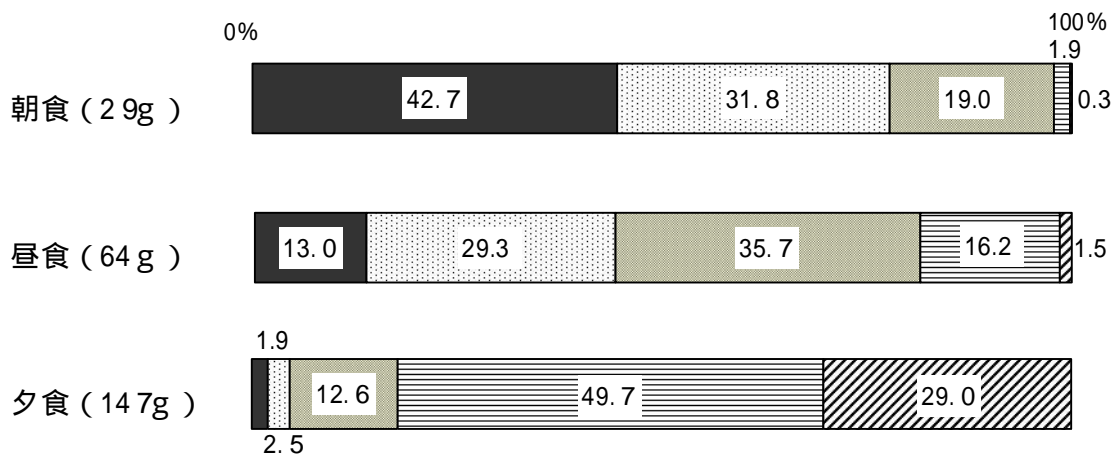
全く重要だと思わない
又は、あまり重要だと思わない



食育への関心が高い児童・生徒の方が朝食の摂取頻度が高い。

(3) 野菜の摂取量について


【毎日の食事で野菜料理をどれくらい食べていますか(保護者)】



朝食で野菜を全く食べない人は、42.7%。

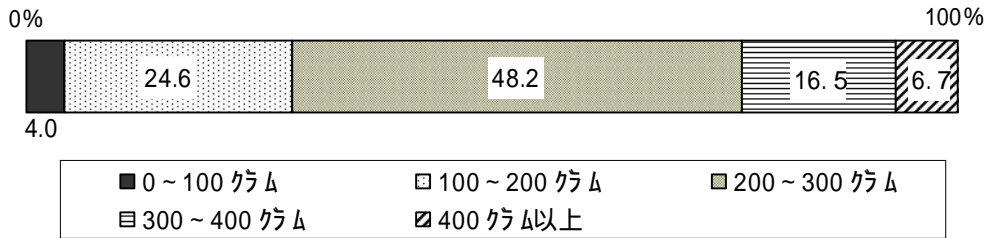
- 全く食べない
- ▣ つけ合わせ程度 [5g]
- ▤ 小鉢1つ程度 [70g]
- ▥ 煮物、炒め物 中皿1皿程度 (小鉢なら2皿程度) [40g]
- ▧ 鍋物、おでん程度 (小鉢1皿 + 中皿1皿程度) [110g]

設問の野菜料理例

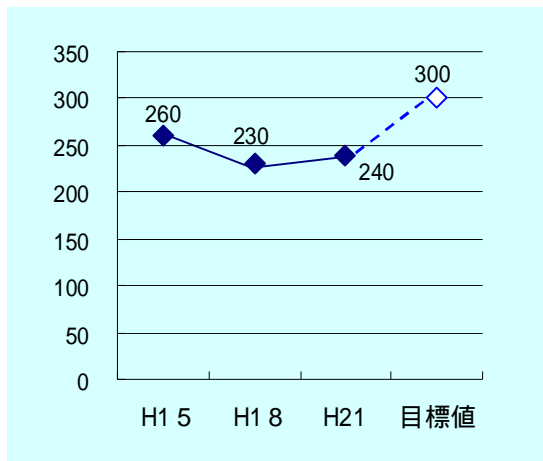
つけ合わせ程度	 キャベツ・トマト・フロッキー等	片手半分くらい
小鉢1つ程度	 根菜のみそ汁 青菜のお浸し 冷やしトマト	片手一杯くらい
煮物、炒め物 中皿1皿程度 (小鉢なら2)	 野菜の煮物 野菜炒め	両手一杯くらい
鍋物、おでん程度 (小鉢1 + 中皿1)	 鍋物 おでん	両手山盛り一杯くらい

【1日あたり野菜摂取量（保護者）】

1日あたりの野菜の摂取量：240グラム



野菜摂取量の推移

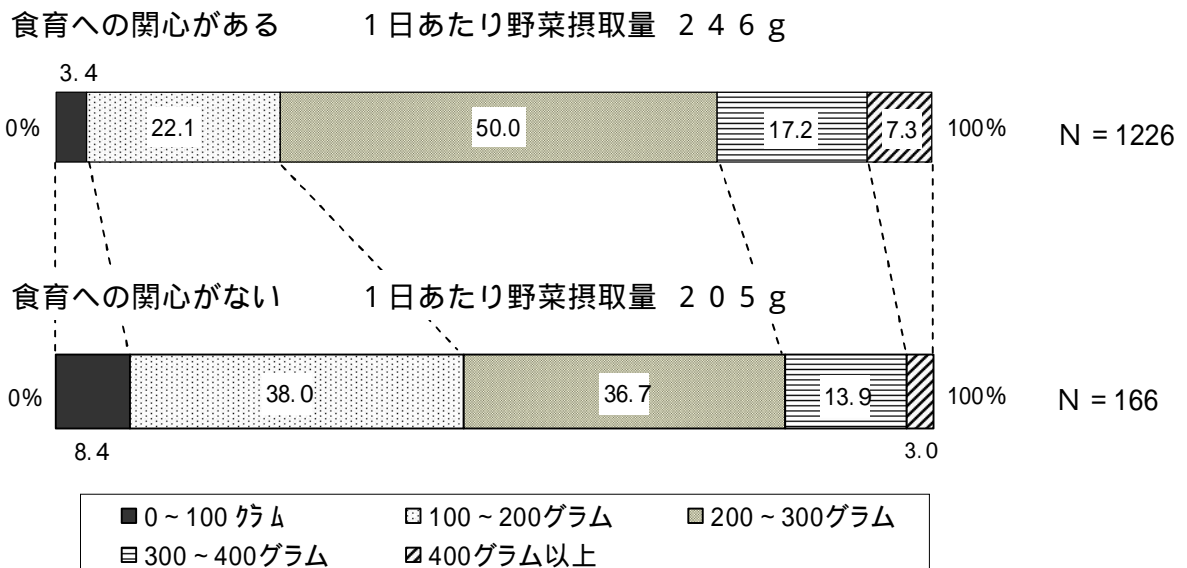


野菜摂取量はやや上昇。
300グラム以上食べている人は、
23.2%。

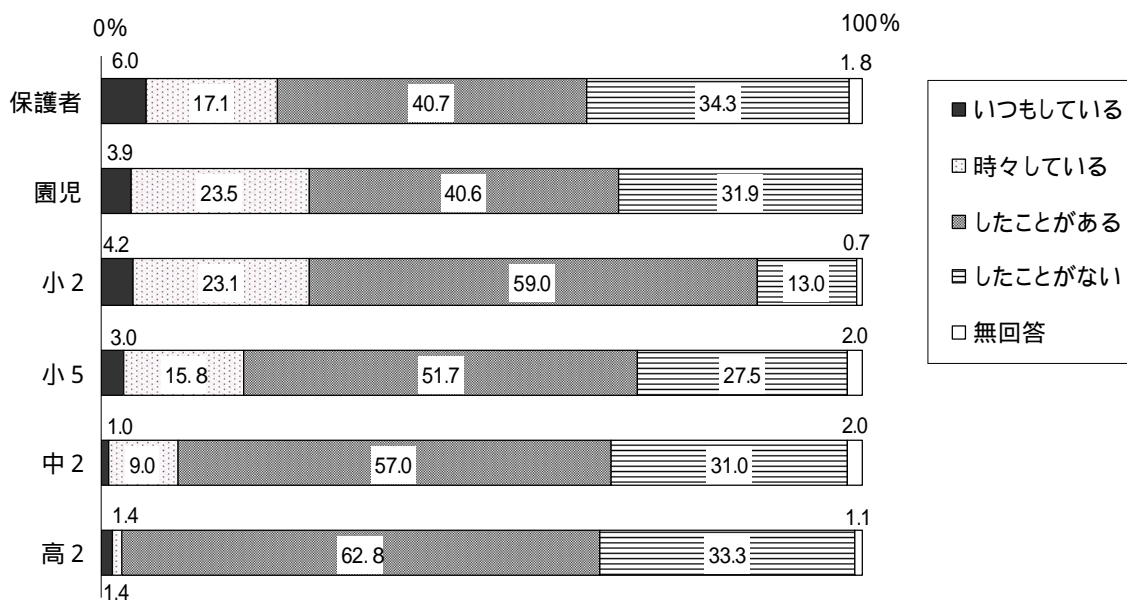
食育に関心を持っている保護者
の方が、野菜摂取量が多い。

食育への関心と野菜摂取量の関係

【毎日の食事で野菜料理をどれくらい食べていますか（保護者）】



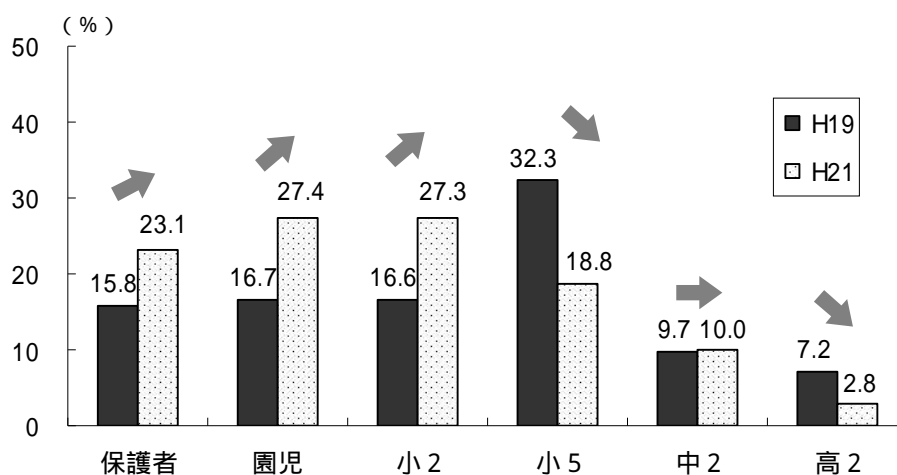
【農産物づくりに取り組んでいますか（子ども・保護者）】



「したことがある」という回答が一番多い。
保護者と園児・低学年で上昇している。

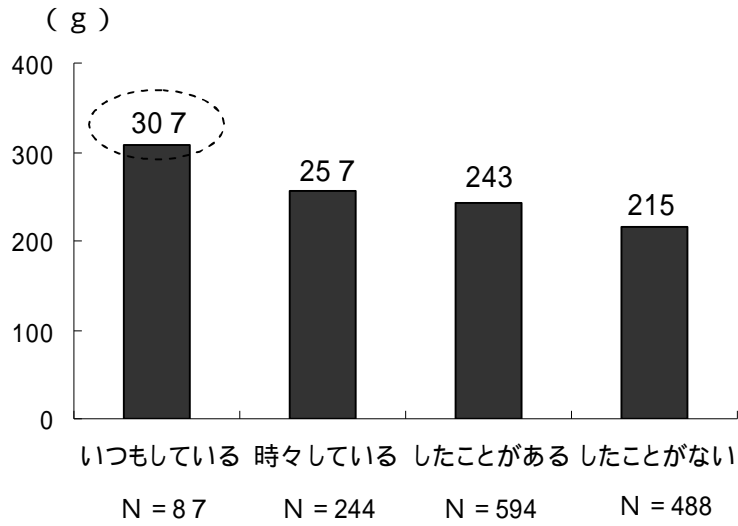
平成19年度アンケート結果との比較

野菜などの農産物づくりをいつもしている 又は 時々している（子ども・保護者）



農産物づくりの取組みと野菜摂取量の関係

【毎日の食事で野菜料理をどれくらい食べていますか（保護者）】

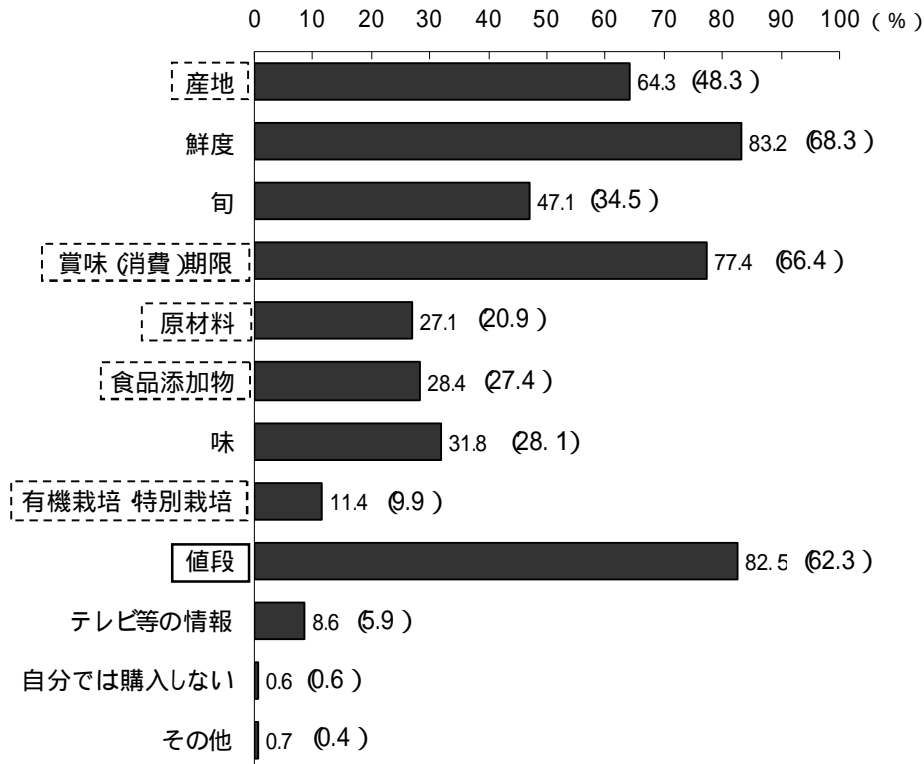


農産物づくりに
取り組んでいる人
の方が野菜摂取
量が多い。

(4) 食品の選択について

【何を意識して購入していますか(保護者)】(複数回答)

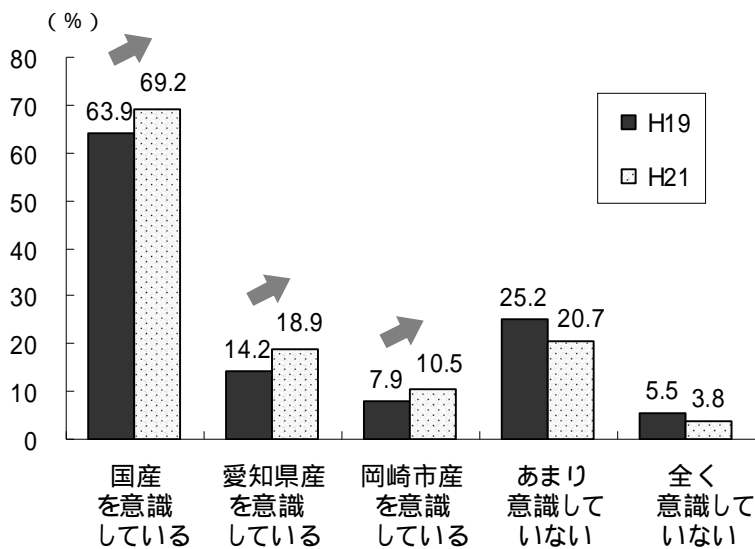
()はH19アンケート結果



食品の表示【産地、賞味(消費)期限、原材料、食品添加物、有機・特別栽培のいずれか】を参考に購入している人は、89.1%。
値段を意識して購入する人が増加

【地元の農産物を意識して購入していますか(保護者)】

H19アンケート結果との比較

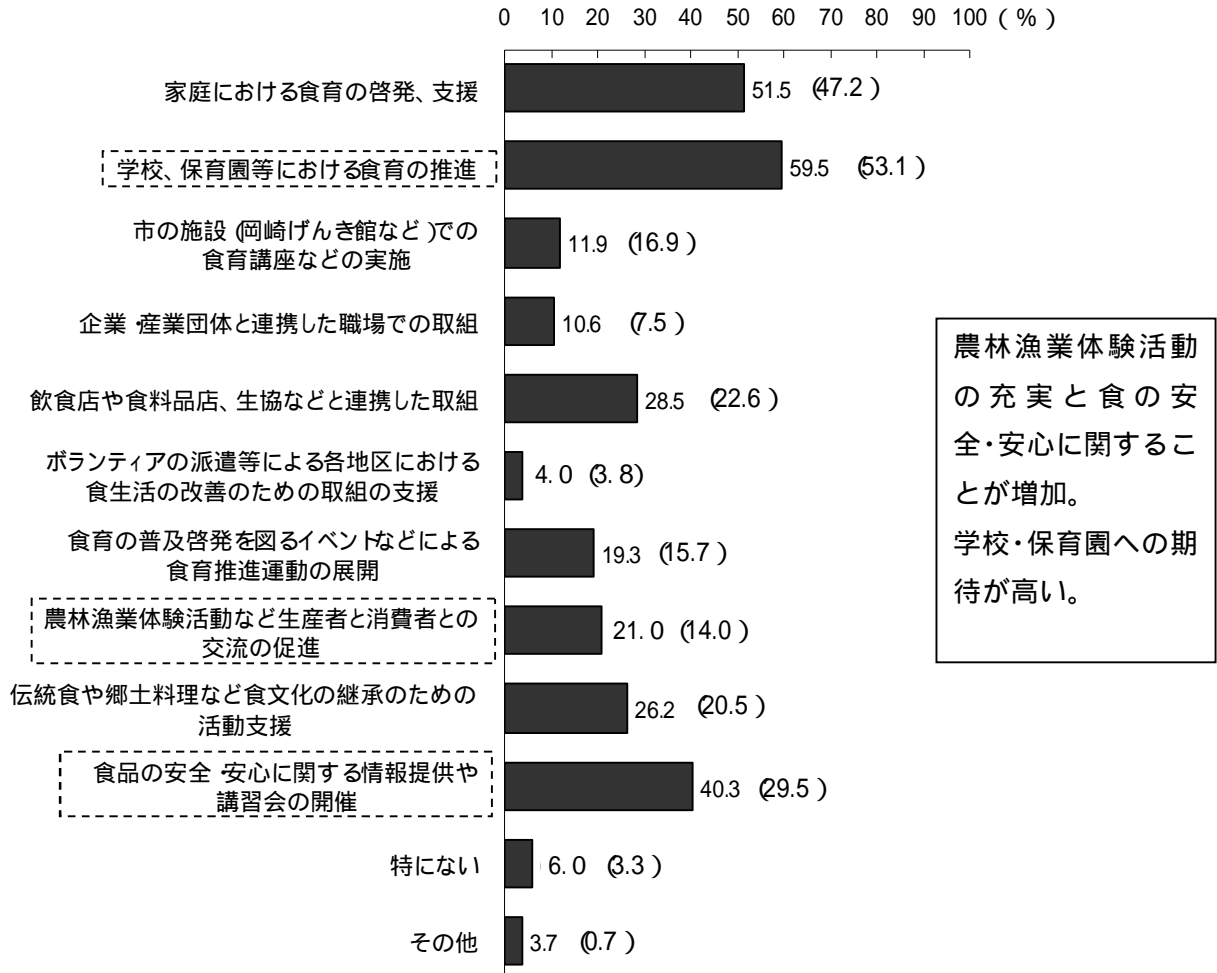


国産、愛知県産、岡崎市産の全て上昇。

(5) 食育の取組みについて

【食育を推進していく上で必要な市の施策は何ですか(保護者)】(複数回答)

()はH19アンケート結果



【その他の意見(上記項目以外を一部集約)】

- ・市政だよりでの特集やホームページなど、もっと広報を充実させる。
- ・保育園、学校の給食を和食中心の献立にして欲しい。
- ・農家の高齢化等で地元野菜の生産者が減っていかないように支援する。
- ・旬の食べ物が安価で手に入るような直売所や朝市などを充実させる。
- ・世界の食料不足の現実を子どもに理解させる。
- ・親の世代に食育が必要なので、子どもから家庭に問題を持ち帰ることが有効。
- ・子どもに作物を作る大変さが伝わるように、年間を通して子どもを主体とした農業体験をさせる。
- ・市民の生活全般の支援方法を考えないと食育は進まない。
- ・世代間(高齢者、親、子)の交流やマナー講習。
- ・あおい号(移動図書)で食育紙芝居を学校や園で行う。

3. 考察（数値目標との比較）

食育に関心を持っている人

H19	H21	評価	H23（目標値）
81.8%	85.5%	➡	90%以上

食育に関する普及啓発活動を始め、園・学校における保護者への働きかけや、関係団体における様々な食育推進事業の効果があったと思われる。

朝食を欠食する幼児・児童・生徒

	H19	H21	評価	H23（目標値）
4歳児	1.1%	0.6%	➡	欠食なし
小学2年生	0.7%	0.3%	➡	
小学5年生	1.1%	1.3%	➡	
中学2年生	4.5%	2.0%	➡	
高校2年生	8.1%	8.8%	➡	

小学5年生と、高校2年生以外は改善傾向がみられる。食べない習慣が付く前に、朝食の大切さを伝えていくことが必要と思われる。

1日あたり野菜摂取量

H19	H21	評価	H23（目標値）
230g	240g	➡	300g以上

野菜摂取量の調査方法が異なるため単純な比較はできないが、ほとんど増加していない。子どもを対象とした野菜料理コンテストなどでは、保護者の野菜摂取量に影響を与えにくいため、目標に向けて新たな取組みを検討していく必要がある。

地元の農産物を意識して購入している人

	H19	H21	評価	H23（目標値）
岡崎市産	7.9%	10.5%	➡	40%以上
愛知県産	14.2%	18.9%	➡	

食の安全・安心への関心が高まり、地元の農産物の購入意識が上がってきていると思われる。地産地消の啓発を引き続き行っていく。

食品を購入するときに、食品表示を参考にする人

H19	H21	評価	H23(目標値)
75.5%	89.1%	➔	90%以上

食品表示に関する様々な問題から、表示についての意識が高まっていると思われる。今後は、表示についての正しい知識と理解の促進を図っていくことも必要。

野菜づくりに取り組む人

H19	H21	評価	H23(目標値)
15.8%	23.1%	➔	増加

増加傾向がみられる。野菜の種や栽培セットの配布など、家庭菜園のきっかけ作りや支援を引き続き行っていく。

「食育推進計画」の数値目標（一覧）

目 標 事 項		策定時(H19)	現状値(H21)	目標(H23)
食育に関心を持っている人		81.8%	85.5%	90%以上
食育推進ボランティアの数		なし	56名+4団体	200人以上
朝食を欠食する 幼児・児童・生徒	4歳児	1.1%	0.6%	欠食なし
	小学2年生	0.7%	0.3%	
	小学5年生	1.1%	1.3%	
	中学2年生	4.5%	2.0%	
	高校2年生	8.1%	8.8%	
1日あたり野菜摂取量		230g	240g	300g
肥満者(1)	小学2年生	5.0%	4.2%	2.5%以下
	小学5年生	7.0%	8.2%	3.5%以下
	中学2年生	8.4%	6.9%	4.0%以下
	40~60代男性	24.7%	31.8%	20%以下
地元の農産物を意識して購入している人		7.9% (岡崎市産) 14.2% (愛知県産)	10.5% (岡崎市産) 18.9% (愛知県産)	40%以上
学校給食における青果物に地場産物を使用する割合(2)		6.5% (岡崎市産) 30.1% (愛知県産)	7.1% (岡崎市産) 35.1% (愛知県産)	増加
食品を購入するときに、食品表示を参考にする人		75.5%	89.1%	90%以上
野菜づくりに取り組む人		15.8%	23.1%	増加

(現状値の出典)

- 1 小学校2・5年生、中学2年生は平成21年度学校保健統計調査
40~60代男性は平成20年度岡崎市健康調査
- 2 平成20年度使用実績(金額)